

技術・家庭「技術分野」

開隆堂が目指すもの

技術科教育は「技術立国」復活の鍵

わたしたち開隆堂出版は、
技術やものづくりの楽しさ・素晴らしさを
学ぶことができる「技術分野」の学習を、
大切にしたいと考えています。



“Made in Japan ...”

戦後の日本を支えてきた、ものづくりや技術力の国際競争力が、新しい国々が急激にその力を伸ばしてきたために、徐々に落ちてきています。また、その国際競争力が落ちてきた他の原因として、日本の技術者減少を招いた若者の「技術離れ」があると考えられています。

世間では、よく「理科離れ」と言われています。算数・数学や理科を苦手とする生徒が多くなり、将来、理科系に進学・就職する割合が減ってきているという事ですが、はたして「理科離れ」だけが問題なのでしょうか？ 本当は「技術離れ」こそが、大きな問題なのではないでしょうか。

小中学校および高等学校の普通教科において、技術について学ぶ教科とされているのは、技術・家庭科「技術分野」しかありません。その「技術分野」の学習を大切にしたい。それが開隆堂出版の考えであり、ねがいなのです。

開隆堂

生徒が理解しやすく実用性が高い教科書

平成24年度から始まる新しい学習指導要領では、「技術分野」の学習に3年間で87.5時間(1年35時間, 2年35時間, 3年17.5時間)しか割り当てられていません。この限られた授業時数の中で、生徒たちが有意義な技術科教育として学ぶことができるように、わたしたち開隆堂出版には、よりよい教科書を提供していく使命があると考えています。



詳しい記述がなされているので、実用性が高く、理解しやすいだけでなく、生徒たちが楽しみながら読み進められる工夫も加えました。

技術の楽しさ、素晴らしさがわかる教科書

身の回りの製品がブラックボックス化していたり、100円ショップなどで安く物が買えるようになっていたりしている現在では、製品を分解してみたり、自分で物をつくったりする、技術にふれる経験が乏しくなっています。それにより、技術の楽しさ、素晴らしさを知る機会も減ってきています。

開隆堂出版の「技術分野」教科書は、ただ単に技術やものづくりを教えるためだけの教科書ではなく、技術やものづくりの楽しさ、素晴らしさを知ってもらえる教科書を目指しました。

経験や体験を通して知る「楽しさ」や、身近な例や最新技術などを掲載して「素晴らしさ」を知ることができるようにしました。



授業がしやすい教科書

「技術分野」の授業時数が徐々に減少してきたことが原因で、技術科を専門とする先生が少しずつ減ってきています。このような状況によって、技術科に精通していない先生が授業をおこなっている学校が増加しているようです。

「技術分野」は専門性が高い教科であると言えます。そのような教科を、技術科に精通していない先生が教えることは、大変な苦勞があると思われます。「技術分野」が目標とする内容を理解し、それを教えることは並大抵なことではありません。

そこで、わたしたち開隆堂出版は、教科に精通していない先生でも「技術分野」の授業がおこないやすい教科書づくりを目指しました。



授業の流れを考慮して編集することにより、教科書の流れに沿って授業を行えるようにしました。

興味・関心を育てる教科書

技術についての学習は、中学校入学後に「技術分野」で初めて学ぶものです。そのため、「技術分野」の学習に入る最初の段階で、技術への興味・関心を喚起するためのガイダンス的な内容の学習を行うことが、学習指導要領に記されています。

わたしたち開隆堂出版は、「技術分野」の最初で興味・関心を育てることの重要性を重視し、ガイダンス的な内容をしっかりと学べる教科書を目指しました。

初めて学ぶ「技術」について知るために必要とされるガイダンスを、教科書の冒頭部分に項目をたてて明記し、興味・関心を育む学習が明確にできるようにしました。



卒業後も活用して欲しい教科書

技術は、日々の生活と密接につながっています。

「技術分野」の学習を通して、技術の楽しさや素晴らしさを知ること、技術関連の仕事に従事するための進路を志す生徒もいるでしょう。しかし、技術を仕事に選ばなくても、日々の身近な生活の中には「技術分野」で学んだことを活かせる場面がたくさんあります。また、技術を直接活用する場面だけではなく、技術と社会、技術と環境との関係を理解すれば、生活の中にあるさまざまな技術が関連している場面で、それらを適切に評価することができるようになります。

このように「技術分野」の教科書は、中学校の授業で使うだけでなく、中学校を卒業したあとも生活の中で活用できる教科書なのです。

わたしたち開隆堂出版は、中学校を卒業してからも「本棚に残しておきたい」と思ってもらえる教科書づくりを目指しました。

「技術分野」教科書は、一生涯有効に活用してもらえる教科書です。



開隆堂出版株式会社

〒113-8608 東京都文京区向丘1丁目13番1号 TEL 03 (5684) 6111
<http://www.kairyudo.co.jp/>

北海道支社	〒060-0061	札幌市中央区南一条西6丁目11番地 札幌北辰ビル8階	TEL 011 (231) 0403
東北支社	〒983-0043	仙台市宮城野区萩野町1丁目11番1号 萩野町Mビル2階	TEL 022 (782) 8511
名古屋支社	〒464-0802	名古屋市千種区星が丘元町14-4 星ヶ丘 プラザビル6階	TEL 052 (789) 1741
大阪支社	〒550-0013	大阪市西区新町2丁目10番16号	TEL 06 (6531) 5782
九州支社	〒810-0075	福岡市中央区港2丁目1番5号 FYCビル3階	TEL 092 (733) 0174